じモと
HOLDINGS

じモとホールディングス ミニディスクロージャー誌

2016
3月期

きらやか銀行　仙台銀行

JIMOTO HOLDINGS '16 MINI DISCLOSURE

地域の成長を
本業支援で
支える

じもと HOLDINGS　きらやか銀行　仙台銀行

PROFILE

じもとホールディングス

設立年月日	平成24年10月1日
本社所在地	仙台市青葉区一番町二丁目1番1号
電話番号	022-722-0011（代表）
資本金	170億円
上場取引所	東京証券取引所
ホームページ	http://www.jimoto-hd.co.jp/

きらやか銀行

本店所在地	山形市旅篭町三丁目2番3号
電話番号	023-631-0001（代表）
設立年月日	平成19年5月7日
資本金	227億円
預金・譲渡性預金	13,138億円
貸出金	10,247億円
従業員数	972人
店舗数	117カ店（県内99カ店、県外18カ店）(注)

（注）ブランチ・イン・ブランチ（店舗内店舗）形式での店舗統合による実質店舗数は72カ店《うち出張所3カ店》（県内56カ店、県外16カ店）、インターネット支店を除く。

ホームページ　http://www.kirayaka.co.jp/

仙台銀行

本店所在地	仙台市青葉区一番町二丁目1番1号
電話番号	022-225-8241（代表）
設立年月日	昭和26年5月25日
資本金	224億85百万円
預金・譲渡性預金	10,323億円
貸出金	6,531億円
従業員数	690人
店舗数	72カ店(注)

（注）ブランチ・イン・ブランチ（店舗内店舗）形式での店舗統合による実質店舗数は61カ店《うち出張所4カ店》。

ホームページ　http://www.sendaibank.co.jp/

（平成28年3月31日現在）

TOP MESSAGE

ごあいさつ

平素より格別のお引き立てをいただき、厚く御礼申し上げます。

平成27年4月からスタートした、じもとホールディングス並びに両子銀行の中期経営計画は、本年度が計画の2年目となります。

じもとグループの中期経営計画は、「本気の本業支援」と「本気の統合効果発揮」の2本柱です。県境を越えた地域金融グループの特徴を最大限に発揮するため、「本業支援」を中核とするビジネスモデルを更に進化・発展させるとともに、経営の効率化・合理化に取り組むことで、更なる統合効果・相乗効果の発揮を目指しております。

本年度は、グループ経営計画の2本柱を更にレベルアップさせるとともに、様々な経営環境の変化に的確に対応するため「企業価値の向上」に取り組み、内部管理態勢を強化してまいります。

本誌では、平成28年3月期のグループ業績とともに、じもとグループが取り組んだ「本業支援」の事例もご紹介しておりますので、是非ご高覧ください。

皆様方におかれましては、今後ともじもとグループに更なるご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成28年6月
株式会社じもとホールディングス
取締役会長　鈴木　隆
取締役社長　粟野　学

じモと HOLDINGS

平成28年度

中期経営計画の位置付け

中期経営計画

平成27年度～29年度

二つの柱

「本業支援」の進化・発展

～本気の本業支援～

経営の効率化・合理化

～本気の統合効果発揮～

企業価値向上に向けて内部管理態勢強化

平成27年度

「本業支援」の進化・発展に向けて

- 「組織的な本業支援」の強化
- 震災復興支援
- 地方創生への貢献

平成27年5月 基幹系システム統合

統一化・共同化による経営効率化

- サブシステム統一化着手
- 業務運営の統一化着手

経営環境変化に対応する管理態勢の強化

- 経営管理態勢
- 内部管理態勢
- リスク管理態勢

平成28年度

じもとホールディングスの特徴を更に発揮します!

- 本業支援における、専門性の高い分野への取組強化(担当部態勢、外部機関連携等)
- 本業支援のレベルアップのための人材育成
- 地方創生に関する取組強化

サブシステムの具体的な統一化を進めます!

業務の共同化・集約化を目指します!

- サブシステム・業務運営等の統一化推進
- 本部管理部門の統合
- ホールディングスへの管理業務の集約化(持株会社の規制緩和を踏まえた対応)

企業価値の更なる向上に取り組みます!

- 経営環境変化に対する的確な対応(収益構造再構築、IT戦略構築等)
- IR、広報態勢の充実

内部管理態勢の強化を図ります!

- リスク管理の強化
- グループとして共通の対応実現

お客さまの想いを実現する本気の本業支援

山形市の株式会社和光様は県内有数の一般クリーニング業であり、「クリーニングWAKO」の店舗を主力とした営業を展開されています。当行と新規取引をしていただこうと鈴木社長へ何度も訪問し、事業の内容と経営課題等をお聴きしました。社長よりこれまで構想を練られていたインターネットを活用した宅配クリーニング部門を新規立上げし、非店舗展開を行っていく計画に対する想いをお聴きし、新事業実現化に向けた計画策定のお手伝いをさせて頂くこととなりました。

本業支援の取組内容

❶ネット受注工程顧客管理とデリバリーシステム導入（リース紹介）
❷設備投資促進の補助金利用の提案と申請支援（採択となり補助金受取）
❸事業計画と資金計画の策定支援
❹設備導入前の財務見直し提案（キャッシュフロー改善）と、見直しの実施。

また、平成27年4月に米沢市の株式会社県南クリーニングセンターをM&Aにより子会社化されており、同社についても経営課題と事業計画をお聴きし、工場改修と機械設備導入による事業効率化、財務改善を同時並行でお手伝いさせて頂くこととなりました。この度、鈴木社長と実際に工場や店舗の現場へ同行させていただきながら、新事業に対する熱い想いを感じることができました。両社の事業は平成28年4月から本格稼働されており、事業拡大と効率化やサービスの向上が図られ業績の向上が期待されます。そのため、改めて自分を信頼していただき、本業支援の取り組みで貢献させていただいたことにやりがいを感じております。

今後とも本業支援を通じて地域に貢献できる銀行員であること、そしてお客さまの想いを聴かせていただき共に悩み考え、心に響くような取り組みができるよう、継続した自己研鑽に努め精一杯がんばっていきます。

プロフィール

きらやか銀行 山形北支店
松田 茂久 課長
法人渉外担当
（1級ファイナンシャル・プランニング技能士）

休日は子育てに奮闘しています。

第4子は4月に生まれたばかり！

VOICE 喜びの声

株式会社和光
代表取締役社長 **鈴木 良彦** 様

昭和48年、きものお手入れ専門からスタートした弊社は現在、一般クリーニング・宅配クリーニング・リネンサプライ・コインランドリーなどの事業へ展開しております。特に近年需要が増加している保管付き宅配クリーニングサービスについては、全国各地からお客様がご自身のクローゼットの代わりとして活用していただいております。

弊社の経営理念として掲げている「お客様の顔が見える仕事作り」とは、お客様が望んでいることに耳と目をすまし、そして工夫改善し喜びの感動を味わうことであります。また、企業として常に成長していくには、時代の流れに則した無理のない経営を念頭に、様々なネットワークを活用していくことにあると考えております。

そんな中、きらやか銀行の松田さんからは、季節変動の多いこの業界の特性を踏まえ、資金繰りに関する支援、また設備投資に関しては補助金の有効活用等、自社の抱えている問題点を親身になって共に考えていただきました。

お蔭さまで現在は新規事業に着手することもでき、順調に進んでおります。今後も良きパートナーとして弊社を含め、中小企業の発展に寄与していただきたいと願っております。

何度も面談を重ねてお客さまをサポート

登米市迫町の株式会社豊蔵コーポレーション様は、デイサービスと整骨院を営んでおられます。登米市内には48の通所介護施設があり、同業者間の競争が激しい地域です。

同社の寺澤豊志社長は、柔道整復師の資格を有しており、マッサージ・機能訓練に注力した営業を展開し、同業他社との差別化を図ってきました。

しかし、これからの厳しい時代を生き残るためには、一層の組織力の強化や計数の管理、人材の育成が重要であると考え、後継者である寺澤忍専務と今後の事業展開を検討していました。そして、当面の目標は近い将来、現在の半日型から1日型（定員30名）の通所介護施設へ移行することとし、行動を開始されました。

ちょうどその頃、当行も同社に訪問を開始し、社長や専務、事務長と何度も面談を重ね、会社の抱える課題を共有したうえで経営目標達成へ向けた提案を行ってきました。

まず第一に、利息負担を軽減して収益力を向上させつつ円滑な資金繰りを確保するため、これまでの取引銀行では無かった新たな資金調達手法をご提案しました。

次に今後、事業を継承される寺澤専務と同年代の税理士を紹介し、会計ソフトを新たに導入することで、自社でリアルタイムに収益・財務状況を把握することが可能になりました。また、様々な経営課題に一緒に立ち向かうパートナーができたことを喜んでいただいています。

現在、新施設の事業計画立案を立てているところですが、「宮城県よろず支援拠点」のコーディネーターとも情報交換を行い、当行の新たなサポート策を検討中です。

私は、今後もお客さまの声に耳を傾け行動する「本気の本業支援」を通じて、地域の発展に貢献していきたいと考えています。

プロフィール

仙台銀行 佐沼支店
佐々木 伸 支店長代理
渉外担当
（農業経営アドバイザー）

休日は子供と一緒に公園で遊ぶなど家族サービスをしています。

本業支援の取組内容

1. 新たな資金調達手法の提案
2. 経営課題の解決に共に取り組むパートナーとして税理士の紹介
3. 「宮城県よろず支援拠点」と連携した新たなサポート策の検討

VOICE 喜びの声

株式会社豊蔵コーポレーション
専務取締役 **寺澤 忍** 様

弊社は平成23年1月に法人を設立し、介護事業を開始いたしました。整骨院をスタートした個人事業時代から数えると、事業を始めて約30年になります。利用者さまに「より心を豊かに、より充実した生活を」送っていただくことをモットーに、アットホームな雰囲気でサービスと機能訓練の提供を行っております。

仙台銀行と取引が始まったのは平成27年からで、期間は長くありませんが、今までの取引銀行には無かった様々な情報提供・新しい目線での提案があり、正直驚いています。日頃から佐々木さんには些細なことも相談に乗ってもらい、常に親身になって対応していただき本当に感謝しています。

現在、半日型の2つの施設を統合し、整骨院を併設した定員30名の1日型デイサービスを新設する計画があります。今後も良きパートナーとして、弊社の事業発展・地域の介護福祉の充実に向け、アドバイスとサポートをいただければと思っています。

きらやか銀行初！新店舗オープン

当行は、平成28年5月16日に、山形県天童市芳賀土地区画整理地内に、新店舗をオープンいたしました。きらやか銀行として初の新店舗となる天童南支店では、お客さまの更なる利便性の向上を図るため、個人のお客さまに特化した店舗として、コンサルティングステーションを併設することで住宅ローンやマイカーローンなどの各種ローン等の受付、資産運用等、ご相談しやすい店舗づくりを行ってまいります。

天童南支店オープン

地方創生！地域振興に向け「山形市」との人事交流実施

山形市と当行を含めた県内3地銀は、地域振興、地域活性化に向けた連携を実施するため、協力協定を締結しました。平成28年4月より、当行から山形市に行員を派遣し、山形市からは職員を当行本業支援部に派遣と相互人事交流を行っております。山形市との相互人事交流は今回が初めてであり、じもとホールディングスの情報網を活かし、仙山交流の促進による地域経済の発展に積極的に努めてまいります。

山形市との連携協力協定締結式

地元の教育支援へ寄与！小学生の表現力の向上を図る「くらしの文集」発刊

一般財団法人きらやか銀行教育福祉振興基金は、教育・学術の振興及び社会福祉・交通安全施設・生活環境の拡充整備等の助成を行い、教育水準の向上並びに地域社会に貢献することを目的としております。

その中で「くらしの文集」発刊は、山形県の小学校に通う子供たちがくらしを見つめ、考えたことや感じたこと、経験したことなどを作文にすることによって、子供たちの生活に潤いを持たせ表現力の向上を図ることを目的としております。くらしの文集発刊は平成27年度で33周年を迎えました。

平成27年度「くらしの文集」　地元の小学校へ贈呈

被災地へ新店舗オープン!! ～被災地の復興をさらに応援～

●歌津支店が新築オープン

歌津支店（宮城県南三陸町）は、東日本大震災の津波で全壊し、志津川支店と同居して営業しておりましたが、平成28年4月に、同町歌津地区に新築オープンいたしました。

新店舗には、相談コーナーや地域のお客さまが自由にご利用いただけるコミュニティスペースを設けており、被災地のお客さまの利便性をさらに高めてまいります。

新築オープンした歌津支店

●荒井支店・南小泉支店が新築オープン

荒井支店・南小泉支店は、平成28年5月に仙台市若林区の荒井西土地区画整理地内に新築オープンいたしました。

荒井西地区は、沿岸部被災者の防災集団移転地区となっており、当行は新店舗出店により被災者の利便性回復に貢献してまいります。ゆとりある駐車場や相談コーナー、コミュニティスペースを設け、地域に密着した金融サービスをさらに提供してまいります。

新築オープンした荒井支店・南小泉支店

商談会で販路拡大を支援!! ～愛知銀行・栃木銀行と連携～

当行は、お取引先企業の販路拡大の支援のため、全国各地の銀行と連携して商談会等を開催しております。

平成28年2月に、愛知銀行主催「愛銀ビジネス商談会」へお取引先企業9社の参加をサポートいたしました。愛知県の製造業との商談機会を提供することで、新たなビジネスチャンスの拡大につなげました。

愛銀ビジネス商談会

また、平成28年3月には、栃木銀行と連携して「みやぎ×とちぎ うまいもん祭in宇都宮」を開催いたしました。当行お取引先企業6社が参加し、牡蠣や塩辛などの販売会や、栃木県内の企業との「ミニ商談会」を開催いたしました。

当行は、今後もお客さまのニーズに合った本業支援を実践し、地元企業をサポートしてまいります。

みやぎ×とちぎ うまいもん祭 in 宇都宮

積極的な会社説明会の開催

じもとホールディングスでは、当社への理解をより深めていただくため、アナリスト向けIR・個人投資家向けIR・地区IRと年間を通して積極的にIRを開催し、企業価値の向上を目指しております。

じもとホールディングスのホームページには、IR ハイライト動画を掲載しておりますので、ぜひご覧ください。

IRの積極的な開催

IRハイライト動画 http://www.jimoto-hd.co.jp/disclosure/ir.html

宮城県へ震災復興寄附金を贈呈

じもとグループのきらやか銀行と仙台銀行は、平成28年3月、宮城県に震災復興への寄附金200万円を寄附いたしました。

これは、平成27年10月～平成28年1月に実施したグループ共同キャンペーン「じもと・じまんキャンペーン」において、お客さまにお預け入れいただいた定期預金の一定割合を復興支援金として被災地へ寄附したもので、今回で2回目となります。

今後もじもとグループは、様々な形で、震災復興と地域経済活性化に貢献してまいります。

宮城県へ寄附

損害保険ジャパン日本興亜（株）との地方創生に係る連携協定の締結

じもとグループのきらやか銀行と仙台銀行は、平成27年11月、損害保険ジャパン日本興亜（株）との間で、地方創生に係る包括的業務連携協定を締結いたしました。

損害保険ジャパン日本興亜（株）は、農林水産物の6次産業化や観光誘致、空き家対策など、地方創生に関する多彩なメニューを提供しております。今般の連携は、相互のノウハウを活用して地方自治体への支援を行うことで、地域の特色を活かした魅力ある地域社会の形成と発展に寄与することを目的としております。

じもとグループは、本協定の締結を機に、宮城、山形両県の持続可能な成長を目指して、さらなる地方創生の推進に取り組んでまいります。

じもとホールディングス連結業績

（単位：百万円、%）

	27年3月期	28年3月期	前年同期比	増減率
連結経常収益	42,755	42,522	△233	△0.5
経常利益	6,751	5,283	△1,467	△21.7
親会社株主に帰属する当期純利益	5,986	4,889	△1,096	△18.3

平成28年3月期の連結業績は、連結経常収益は425億22百万円、経常利益は52億83百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は48億89百万円となりました。

きらやか銀行・仙台銀行（単体）の2行合算

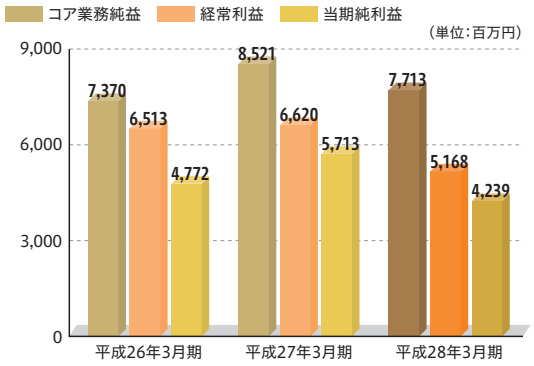
（単位：百万円、%）

	2行合算			
	27年3月期	28年3月期	前年同期比	増減率
経常収益	42,213	41,812	△400	△0.9
業務粗利益	34,889	32,604	△2,284	△6.5
経費（除く臨時処理分）	25,290	25,789	499	1.9
業務純益	10,210	7,630	△2,579	△25.2
コア業務純益	8,521	7,713	△807	△9.4
経常利益	6,620	5,168	△1,451	△21.9
当期純利益	5,713	4,239	△1,473	△25.7
貸出金	1,599,527	1,677,897	78,369	4.9
預金等（譲渡性預金を含む）	2,368,310	2,346,118	△22,192	△0.9
有価証券	753,315	682,674	△70,640	△9.3

2行合算の経常収益は、前年同期比4億円減少の418億12百万円となりました。

銀行の本業の収益力を表すコア業務純益は、役務取引等利益の減少に加え、経費が増加したことから、前年同期比8億7百万円減少の77億13百万円となりました。

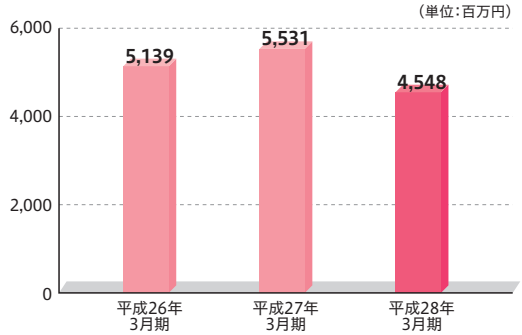
経常利益は、前年同期比14億51百万円減少の51億68百万円、当期純利益は前年同期比14億73百万円減少の42億39百万円となりました。



業績ハイライト（単体）

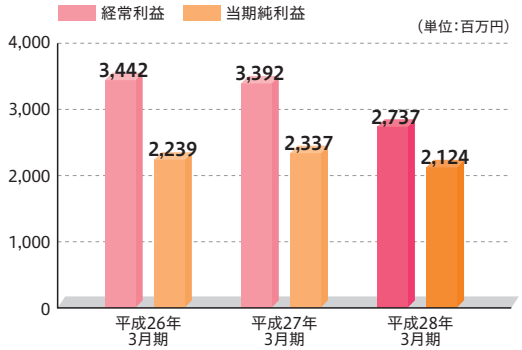
コア業務純益の状況

銀行の本業の収益力を表すコア業務純益は、資金利益や役務取引等利益が減少し、また、システム移行に伴う費用等により物件費が増加したことなどから、前年同期比9億83百万円減少の45億48百万円（増減率△17.7%）となりました。



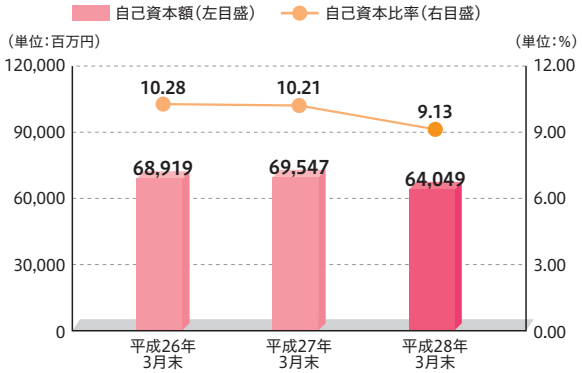
経常利益・当期純利益の状況

経常利益は前年同期比6億55百万円減少の27億37百万円、当期純利益は前年同期比2億12百万円減少の21億24百万円となりました。



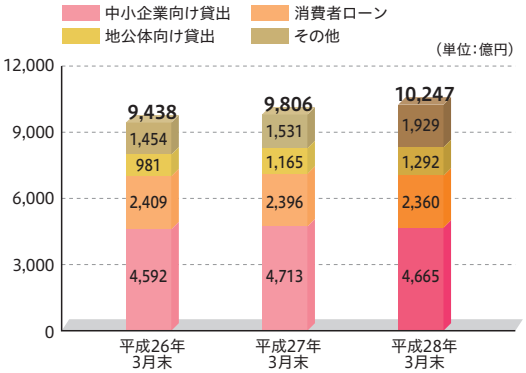
自己資本比率の状況

自己資本比率は、劣後特約付社債等を期限前に償還したことで自己資本額（分子）が減少。また、貸出金残高の増加に伴いリスクアセット（分母）が増加したことなどから、平成27年3月末比1.08ポイント低下の9.13%となりました。



貸出金の状況

貸出金残高は、市場性ローンや地方公共団体向け貸出が増加したことなどから、平成27年3月末比440億52百万円増加の1兆247億11百万円となりました。

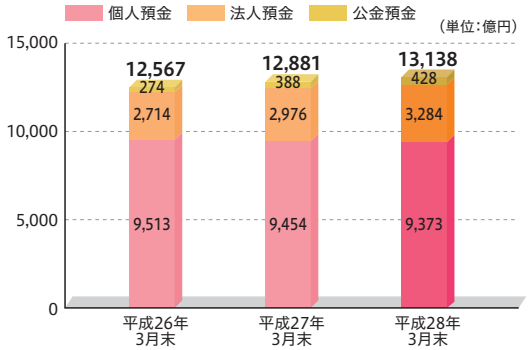


用語解説

■ **コア業務純益**　「業務純益」から「一般貸倒引当金繰入額」と「国債等債券損益」を除いたものです。分かりやすく言えば、資金運用収益と調達費用の差額である資金運用収支と、送金手数料等の手数料収支から、営業経費を引いた、いわゆる銀行本業部分の収支のことを指します。

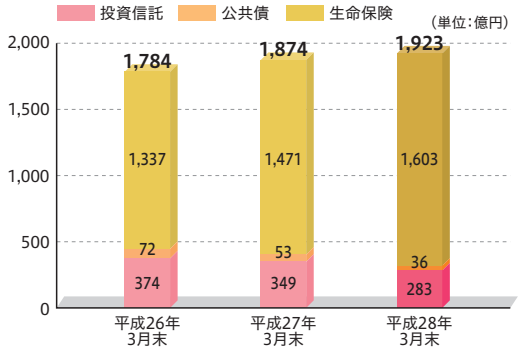
預金（譲渡性預金を含む）の状況

預金残高は、法人預金及び公金預金が増加したことから、平成27年3月末比257億8百万円増加の1兆3,138億18百万円となりました。



預かり資産の状況

預かり資産残高は、安定志向にあるお客さまニーズの取込みなどにより生命保険残高が増加したことなどから、平成27年3月末比49億10百万円増加の1,923億14百万円となりました。

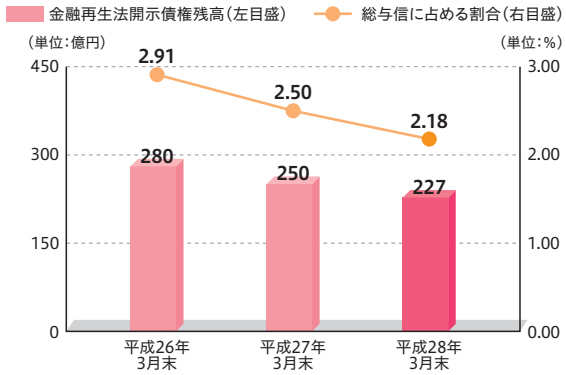


金融再生法開示債権の状況

金融再生法に基づく開示債権の残高は、平成27年3月末比23億16百万円減少の227億19百万円となりました。

総与信額に占める割合は、平成27年3月末比0.32ポイント低下し2.18%となりました。

金融再生法開示債権残高および総与信に占める割合



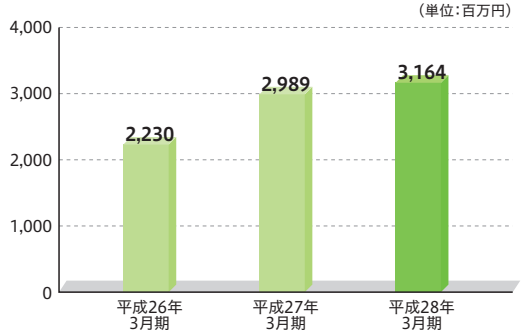
■経常利益　「業務純益」から「株式売買損益」や「個別貸倒引当金繰入額」などの臨時損益を加減した利益を指します。
■当期純利益　「経常利益」に「特別利益」と「特別損失」、そして法人税等の税金を加減した利益を指します。

※金額は単位未満を切り捨てて表示しております。

業績ハイライト（単体）

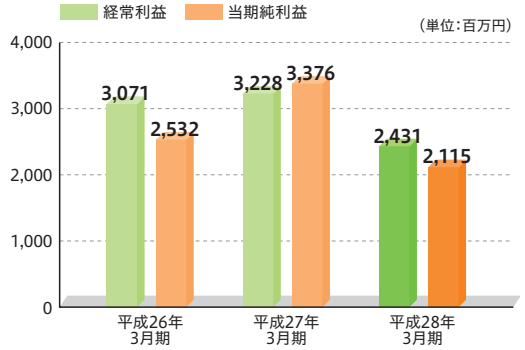
コア業務純益の状況

銀行の本業の収益力を表すコア業務純益は、資金利益が増加したことや物件費の削減に努めたことなどから、前年同期比1億75百万円増加の31億64百万円（増減率5.8%）となりました。



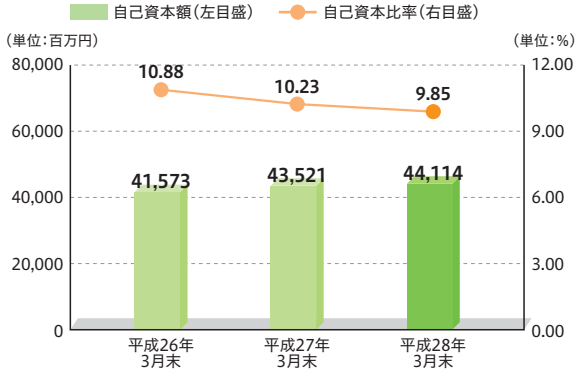
経常利益・当期純利益の状況

経常利益は、前年同期比7億96百万円減少の24億31百万円、当期純利益は、前年同期比12億61百万円減少の21億15百万円となりました。



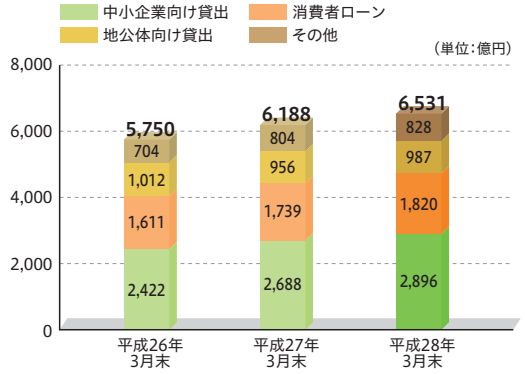
自己資本比率の状況

自己資本比率は、当期純利益を21億15百万円計上したことで自己資本額（分子）が増加した一方で、貸出金残高の増加に伴いリスクアセット（分母）が増加したことなどから、平成27年3月末比0.38ポイント低下の9.85%となりました。



貸出金の状況

貸出金残高は、震災復興に係る様々な資金需要への対応により、中小企業向け貸出や住宅ローン、個人ローンが増加したことなどから、平成27年3月末比343億16百万円増加の6,531億86百万円となりました。

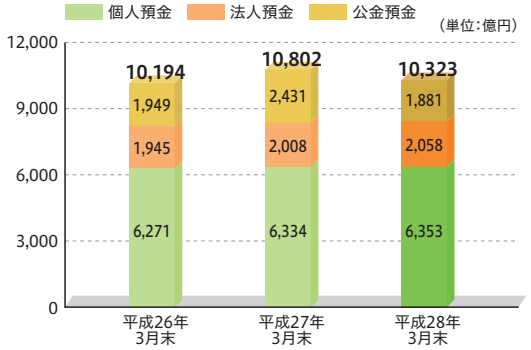


用語解説

■ **コア業務純益**　「業務純益」から「一般貸倒引当金繰入額」と「国債等債券損益」を除いたものです。分かりやすく言えば、資金運用収益と調達費用の差額である資金運用収支と、送金手数料等の手数料収支から、営業経費を引いた、いわゆる銀行本業部分の収支のことを指します。

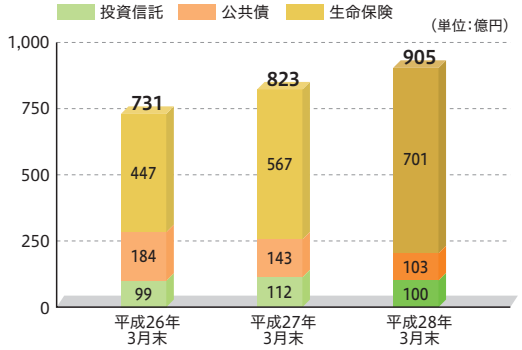
預金（譲渡性預金を含む）の状況

預金残高は、公金預金の減少により、平成27年3月末比479億1百万円減少の1兆323億円となりました。



預かり資産の状況

預かり資産残高は、お客さまの資金運用ニーズへの対応により、生命保険残高が増加したことなどから、平成27年3月末比81億91百万円増加の905億28百万円となりました。

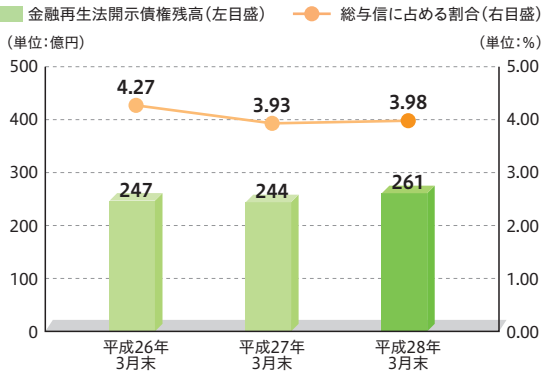


金融再生法開示債権の状況

金融再生法に基づく開示債権の残高は、一部の企業のランクダウン等により、平成27年3月末比17億36百万円増加の261億96百万円となりました。

総与信額に占める割合は、平成27年3月末比0.05ポイント上昇の3.98%となりました。

金融再生法開示債権残高および総与信に占める割合



■**経常利益**　「業務純益」から「株式売買損益」や「個別貸倒引当金繰入額」などの臨時損益を加減した利益を指します。
■**当期純利益**　「経常利益」に「特別利益」と「特別損失」、そして法人税等の税金を加減した利益を指します。

※金額は単位未満を切り捨てて表示しております。

株主の皆様へ

株式のご案内

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日までの1年といたします。
定時株主総会	毎年6月
単元株式数	100株
配当金受領株主確定日	3月31日および中間配当を行うときは9月30日。
基準日	定時株主総会については、3月31日といたします。その他必要があるときは、あらかじめ公告いたします。
公告方法	電子公告といたします。 **【公告掲載ホームページアドレス】** http://www.jimoto-hd.co.jp/ ただし、やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞、仙台市において発行する河北新報および山形市において発行する山形新聞に掲載して行います。

株式事務取扱場所

株主名簿管理人	東京都中央区八重洲一丁目2番1号　みずほ信託銀行 株式会社
同事務取扱場所	東京都中央区八重洲一丁目2番1号　みずほ信託銀行 株式会社　本店証券代行部

	証券会社等に口座をお持ちの場合	証券会社等に口座をお持ちでない場合（特別口座の場合）
郵便物送付先	お取引の証券会社等になります。	〒168-8507　東京都杉並区和泉2-8-4 みずほ信託銀行　証券代行部
電話お問合せ先		フリーダイヤル　**0120-288-324**（土･日･祝日を除く 9:00 ～ 17:00）
各種手続お取扱店（住所変更、株主配当金受取り方法の変更等）		みずほ証券　本店、全国各支店 プラネットブース（みずほ銀行内の店舗）でも取り扱いいたします。 みずほ信託銀行　本店および全国各支店 ※トラストラウンジではお取り扱いできませんのでご了承ください。
未払配当金のお支払	みずほ信託銀行（※）およびみずほ銀行の本店および全国各支店 （みずほ証券では取次のみとなります） （※）トラストラウンジではお取り扱いできませんのでご了承ください。	
ご注意	支払明細発行については、右の「特別口座の場合」の郵便物送付先・電話お問合せ先・各種手続お取扱店をご利用ください。	特別口座では、単元未満株式の買取・買増以外の株式売買はできません。証券会社等に口座を開設し、株式の振替手続を行っていただく必要があります。

お問合せ先　みずほ信託銀行 株式会社　**0120-288-324**

上場株式配当等の支払に関する通知書について

租税特別措置法の改正により、株主様に支払配当金額や源泉徴収税額等を記載した支払通知書を通知することとなっております。つきましては、支払通知書の法定要件を満たした配当金計算書を同封しておりますので、平成２９年の確定申告の添付資料としてご使用ください。

なお、配当金を株式数比例配分方式によりお受け取りの場合、源泉徴収税額の計算は証券会社等にて行われますので、平成２９年の確定申告の添付書類としてご使用いただける支払通知書につきましては、お取引の証券会社等へご確認ください。

株式会社 じもとホールディングス
〒980-0811 仙台市青葉区一番町二丁目1番1号
TEL.022-722-0011（代表）
http://www.jimoto-hd.co.jp/

「創立5周年記念 株主優待の実施」

じもとホールディングス創立5周年を記念いたしまして、平成29年9月30日現在、1,000株以上の株式を、1年以上継続して保有している株主様を対象に、クオカード、地元宮城・山形の名産品のほか、全国の特産品等の商品を贈呈する、株主優待を実施する予定です。

株式会社 きらやか銀行
〒990-8611 山形市旅篭町三丁目2番3号
TEL.023-631-0001（代表）
http://www.kirayaka.co.jp/

株式会社 仙台銀行
〒980-8656 仙台市青葉区一番町二丁目1番1号
TEL.022-225-8241（代表）
http://www.sendaibank.co.jp/

UD FONT　見やすく読みまちがえにくい ユニバーサルデザインフォントを採用しています。

平成28年6月発行